

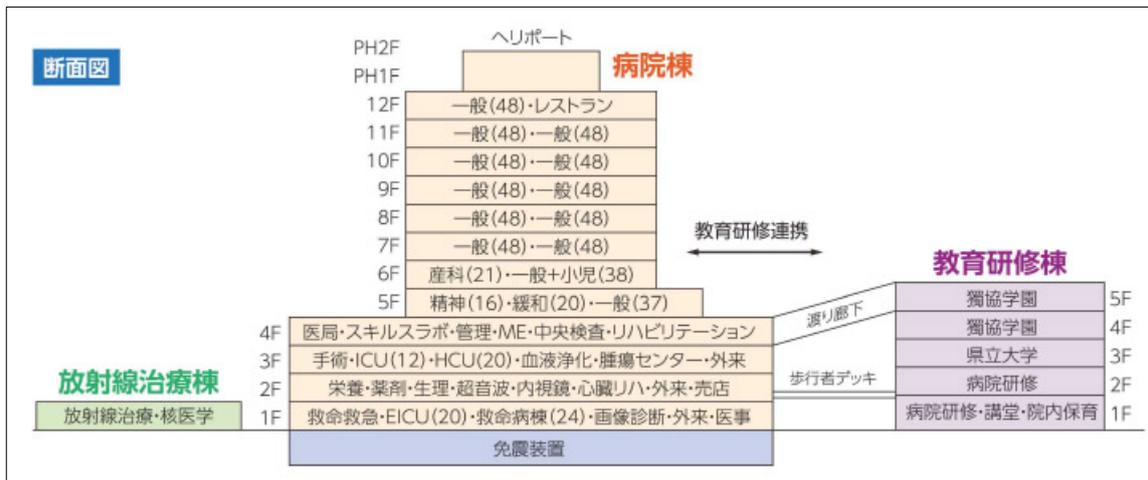
V. 特記事項

獨協学園 姫路医療系高等教育・研究機構について

1) 設立主旨

姫路市を中心とする中・西播磨地域では、少子高齢化による患者数の増加や医師・看護師不足といった課題を抱えている。こうした地域の現状を踏まえ、獨協学園では、新県立病院と密に連携して医療教育や臨床研究を行う「獨協学園姫路医療系高等教育・研究機構」を令和4（2022）年度4月に設立し、医療レベルの向上や人材育成などに貢献していく。

2) 高等教育部の機能



獨協医科大学大学院研究科の姫路サテライトとして、医学研究科（博士課程）、看護学研究科（修士課程）の授業及び研究に活用するとともに、本学としては、以下のとおり、具体的な活用が見込まれている。

- ① 大学院研究科（修士課程）サテライト教室
 - ・ 言語教育研究科：英語コース、中国語コース
 - ・ 法学研究科：公法学講座、私法学講座
 - ・ 経済情報研究科：税理士コース、マネジメントコース、情報システムコース、医療マネジメントコース
- ② 学部 高学年のサテライト
 - ・ 文系（人間社会学群）：上記大学院修士課程のコースを目指す学生等
 - ・ 医療系（医療保健・看護・薬の各学部）：新県立病院の実習生等
 - ・ 医療系リカレント支援センター：卒後教育・復職支援、健康関連の市民講座・講演会等

3) 研究部の機能

新県立病院との連携・協働で医療教育・研究の強化を図るため、地域の課題に取り組むセンター（先端医療研究センター、地域疫学研究センター、地域医療研修研究センター）を設置し医療レベルの向上や人材確保・機器開発に貢献する予定である。